

【教育学専攻】

<卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）>

本専攻では、「教育」という視座から人間と社会の諸問題を探究することのできる人物の育成に取り組んでいる。これからの社会の持続的発展を展望するには、「政治」や「経済」あるいは「文化」や「宗教」などとともに、「教育」という視座が極めて重要な役割を果たしていくと考えるからである。本専攻において「学士（人間関係学）」を授与される学生は、以下のような資質と能力を有するものとする。

1. 教育に関する諸問題を多角的に探究するための基礎教養として、人文科学・社会科学・自然科学に関する基本的知識と、海外の様々な学問的知見に学ぶために必要な語学力を身につけている。
2. 教育学の基礎に関する概括的知識とともに、教育学の主軸分野としての教育哲学、教育史、比較教育学、教育心理学の基本的知識を獲得している。
3. 教育に関する諸問題を学問的に探究するための方法論（哲学や歴史学の方法論から自然科学の方法論に至る多彩なアプローチ）の基礎を身につけている。
4. ゼミナールでのプロジェクト研究や各自の卒業論文研究などを通して、「教育」という視座から人間と社会の様々な問題の探究や解明を試みている。